

2024 立体四目選手権

総評

本年も北は北海道、南は沖縄の小学 2 年生～大学生が同じ土俵で競い合う、まさにパズル道場ならではの全国規模の大会を実施することができました。

遠路はるばるお越し頂いた皆様、また、たくさんのお出場者を送り込んでいただいた塾の先生方に改めて御礼申し上げます。

本年は、「ヒアリングトライアル」を仮の種目として実施しましたが、予想を遥かに上回る結果に驚きを隠せませんでした。今までの『見るだけで解く』に加えて『聞くだけで解く』というヒアリングトライアルが、パズル道場の 2 大必須トレーニングとして加わります。今回の選手権に参加の生徒たちが既にトレーニングを積んでいたと思いますが、まさかここまで出来るとは思いませんでした。

これは、ヒアリングトライアルのトレーニングを積んだ事はもちろんですが、ベーシックトレ、マッハワン、パズルオリンピック、春秋の全国大会（配信）で『見るだけで解く』能力が高まったことが『聞くだけで解く』ことの大きなアドバンテージになっている事と思われます。来年は、こちらにもマークシートを使った正式種目となりますので、塾でのトレーニングを毎週積み重ねてください。

さて、メイン種目の立体四目ですが、こちらも予想以上にレベルアップしており、今まで決勝トーナメントに残っていた常連の生徒が多数予選落ちをしました。更には小学 2 年生、3 年生が複数人、決勝トーナメントに残り大活躍したのには驚きです。優勝した中学 2 年生の安定した力には及びませんでしたが、来年以降が楽しみです。塾でのトレーニングがレベルアップした事はもちろんですが、『AI 立体四目アプリ』の活用頻度が上がった事も関係あるかと思います。立体四目に強くなるには、自分より強い人と戦い、どうすれば勝てるかを自分で試行錯誤する事です。『AI 立体四目アプリ』があれば、その事に自分 1 人で取り組む事ができます。

本年のオープニングの演出や特別授業は、生徒だけでなく、見学の保護者の皆様や先生方に響いて頂きたく、実施しました。いかがだったでしょうか。

来年は更に内容を充実させたいと考えております。

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

パズル道場
代表 山下 善徳